

糸島市立一貴山小学校

H27,11,13

一貴山小学校便り

光る目・光る心・光る汗の一貴山っ子

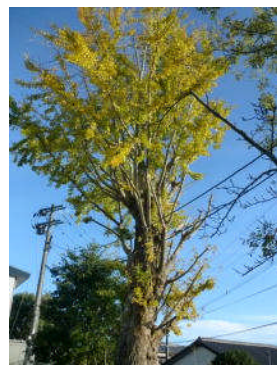
いっしょうけんめいの目で勉強

きもちのよい心のこもったあいさつや言葉づかい

たくさん汗をかいて体を動かす

立冬が過ぎたものの、昼間は温かく子どもたちにとっては、過ごしやすい気候です。10月の「Iファミリー」への御協力誠に有り難うございました。家庭読書では、「親子で読書の機会になりました。」おしゃべりディナーでは、「学校の話沢山聞けて楽しかった。」等の御家庭での笑顔が浮かぶ感想もあり、たいへん嬉しく思いました。ただ今、集約中です。今後も御協力をよろしくお願いいたします。

さて、今回は、校区文化祭の様子と、平成27年度全国学力・学習状況調査結果及び福岡県学力テストの結果について（2面目）お知らせします。授業改善を中心として課題改善に向けて努力して参ります。



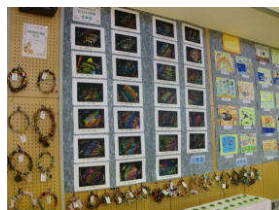
↑黄金の輝く「イチョウ」

＊＊ふれあいいっぱいの「校区文化祭・収穫祭」でした。＊＊

11月1日の校区文化祭・収穫祭では、本校の子どもたちも「演芸の部」「展示の部」に参加し、日頃の学習の成果を見ていただく機会となりました。御覧頂き誠に有り難うございました。

また、園児の皆さんから中学生までの発表や皆様の作品展示に刺激を受け、子どもたちや教師にとっても学びの場となりました。

保護者の皆様には、PTAバザーへの多大なる御協力をいただきまして誠に有り難うございました。子どもたちが「ストラックアウト」や「物品バザー」などの各コーナーで保護者の皆様や校区の皆様とふれあいながら楽しく過ごすことができていてとても嬉しく感じました。一貴山校区皆様の一体感を感じた素晴らしい1日となりました。



【風船とぼし】3年生が育ててきた人権の花「ヒマワリ」の種を風船と一緒に飛ばしました。山口県長門の方から「風船が届きました。」と連絡をいただきました。お世話をいただいた皆様、有り難うございました。



【PTA バザー】事前の準備から後片付けまで御協力有り難うございました。

【見て・聞いて・演じて楽しみました。】

◆◆◆児童会活動「あいさつ運動」てんかい中◆◆◆

「あいさつを進んでできるようにしよう」というねらいのもと、児童の総務委員会が中心となり『搜索中、隠れたあいさつ名人を探せ!』という取組をしています。これまでの「あいさつ名人」と認定を受けた6年生が様々な場面で「あいさつ名人」を探して放送で紹介し、あいさつを推奨していくという取組です。その取組の効果もあり、「進んであいさつできる子ども」が増えてきました。御家庭や地域の中でも声をかけていただいている成果であると思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。



【総務委員会による名人の紹介】

平成27年度の学力テストの結果概要と今後の改善に向けて

全国学力テスト・福岡県学力テスト共に調査の目的は、学力・学習の状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、教育活動の充実や学習状況の改善に役立てることです。

1 平成27年度全国学力・学習状況調査

【調査対象】 糸島市立一貴山小学校 6年生 29名

【結果の概要】

- 国語に関して、国語Aは、わずかに全国平均を上回りました。
しかし、国語Bは、全国平均より低く、開きが出ました。
- 算数に関して、算数A、Bともに全国平均に届きませんでした。
- 理科に関して、全国平均に届きませんでした。

☆ 児童質問紙への回答状況については、紙面の都合上、次号にて紹介します。

2 平成27年度福岡県学力テスト

【調査対象】 糸島市立一貴山小学校 5年生 22名

【結果の概要】

- 国語に関して、国語A、Bともに福岡県平均を上回りました。
- 算数に関して、算数A、Bともに福岡県平均を上回りました。



3 今後の改善に向けての方策

(1) 活用力を高めるための授業改善を行います。

- ・めざす児童像と授業像を具体的に確認し、活用力を高める指導法を職員で共有します。
- ・管理職による訪問授業を実施し、ブロック体制による協働実践の充実を図ります。
- ・学ぶ姿勢、学び方についてのモデル授業を全校で実施し、児童、教師で確認します。

(2) 読解力を高めるための取組を行います。

- ・長文読解の問題に挑戦する意図的な時間を確保します。
- ・10分間の読書タイムの内容を充実させていきます。
- ・家庭と連携した家庭読書に取り組みます。
- ・各教科等で単元の見直しを行い、調べ学習や読書を効果的に設定し、更なる図書室の活用を図っていきます。



(3) 児童理解を深めるための取組を行います。

- ・各種アンケート結果（いじめ、Q-Uテスト、児童自己評価）を丁寧に分析し、教育相談や個別支援に生かします。
- ・授業における机間指導を適切に行い、見取りを授業に生かすようにしていきます。
- ・学習後のノートを回収し、児童の学習状況を的確に評価します。
- ・家庭学習（宿題）を回収し、児童の学習状況を評価します。



(4) 基礎・基本の定着を図るための取組を行います。

- ・ねらいと内容を明確にした基礎・基本の理解を図る授業を行い、「わかった。できた。」と言える授業の充実を図ります。
- ・週3回、国語・算数の基礎タイムの内容の充実を図ります。
- ・月曜日の朝は、前週の宿題の中から確認テストを確実にを行います。
- ・各学年、学期に2回の算数科の習熟タイム（一単位時間）の内容を充実させます。
- ・国語、算数だけでなく、理科や社会の基礎・基本も宿題の内容に入れていきます。

(5) 学力実態に応じた児童への指導・支援を行います。

- ・児童の実態に応じた少人数指導や複数指導体制の工夫改善を行います。

学力実態の詳細につきましては、11月4日付け文書で御案内していました「学校教育説明会・子どもの学力応援セミナー」（12月2日）の中でお知らせします。保護者の皆様は、ぜひ御参加ください。尚、6年生の全国学力・学習状況調査の個人結果については、12月2日の学習参観日に個別にお渡しします。これからも「確かな学力」に結びつく授業改善に努力し、さらなる知・徳・体バランスのとれた「目・心・汗の光る一貴山っ子」を目指して参ります。

今後も家庭学習の習慣化や学習道具の準備への御協力等よろしくお願いいたします。